

仙台市立作並小学校



校長室だより

第7号

やさしい子
かしこい子
たくましい子

平成29年12月18日

いじめのない楽しく笑顔あふれる仲良しな学校！

仙台市では、児童が主体となっていじめのない学校を作ろうと、それぞれの学校でいじめ防止活動に取り組んできました。12月5日にAERで開催された「いじめ防止きずなサミット」には、仙台市内の小学校・中学校から代表児童・生徒が集まり、各学校の取り組みを紹介したり、いじめをなくすためにどうしたらよいのか話し合いをしたりしました。作並小学校からは、5年生のHさんが代表として参加しました。

12月14日には、全校児童が集まり、いじめ防止きずなサミットの報告を聞いたり、いじめ防止のDVDをみながら、いじめについて考えたりする学習を行いました。

5・6年生が中心になって考えた作並小学校のいじめ防止行動宣言は「いじめのない楽しく笑顔あふれる仲良しな学校」です。そのために、大切にしていきたいことは

- ① 元気に笑顔であいさつする。
- ② だれにでもやさしく平等に接する。
- ③ 互いの考えを大切にする。

取り組んできたことの一つ目は、あいさつ運動です。あいさつをすると明るい気持ちになりいじめがなくなると考えて、ポスターを作ったり放送で呼びかけたりしました。高学年があいさつのお手本になるように心がけてきました。二つ目は、仲良しタイムです。毎週金曜日の昼休みに全校遊びの時間をつくりきずなを深めようと考えて取り組んでいます。何をして遊びたいかみんなの意見を聞いたり、低学年でも楽しめるルールを工夫したりしています。

授業の後半には、中学生が作成したストップいじめDVDを見ながらいじめについて考えることができました。遠足でお弁当の時間に一緒に食べる人が見つからず困ったり泣いたりしている子や、ドッジボールが終わったあとにいつもボールを片付けさせられている子などいろいろな場面について、それぞれがどんな気持ちでいるのかを分かりやすく説明しています。DVDを見た後の感想では、「いじめは人を悲しませることだ」「いつもボールを片付けさせられている人は悲しい気持ちだと思う」「自分では軽い気持ちで言ったことでも人を傷つけてしまう」「人を傷つける言葉はやめたい」「ちょっとした言葉で人を傷つけてしまうから、これからはよく考えてしゃべりたい」「言葉遣いに気を付けたい」「相手のことを考えて行動したい」などたくさんの感想が出されました。

いじめのない楽しく笑顔あふれる仲良しな学校を作るのは、作並小の一人一人です。作並小の行動宣言を思い出して行動できるようになってほしいです。

